

アドミッション・ポリシー

●求める人物像

本専攻では、次のような人材を求めています。

1. 大学院入学後の学業に支障のないだけの偏りのない知識と好奇心を持ち、生命科学や社会医学の研究に意欲を持つ人。
2. 国内外の幅広い情報を収集し、我が国においてだけでなく他国の研究者と共同研究を行い、研究成果を世界に向けて発信できるよう、国内外を問わず 様々な研究者とコミュニケーションがとれるような国際的視野を有する人。
3. 保健・福祉，医療経済，医療情報など様々な領域との関わりなしでは解決できない，現在の医学・医療の抱える課題を解決できるよう，豊かな教養や経験，多彩な価値観を有し，生命科学や社会医学の研究に意欲を持つ人。

●入学者選抜の基本方針

学力検査（英語）で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，学力検査（小論文）で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価し，面接で「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価し，成績証明書で「知識・技能」を評価し，出願書類を面接の参考資料として「知識・技能」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
博士課程	学力検査(英語)	○	○	
	学力検査(小論文)	○	○	○
	面接		○	○
	成績証明書	○		
	出願書類(面接の参考資料)	○		

教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

医学専攻では、人類の健康・福祉と生命科学の発展に貢献できる国際的視野を備えた研究者を養成し、高度先進医学・医療を推進することにより、地域における医学・医療の中核としての役割を担いうる医師・医学者を養成することを目的として教育課程を編成する。特色としては大学院生の志望の多様化に対応し、より充実した教育システムを構築するため、講座横断的な教育・履修コース（クラスター）が設けられており、クラスター共通科目及びそれぞれのクラスター専門科目の講義・実習を受けることで、各自の研究を幅広い視野から効率よく進めることができる。

学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）に則り、各科目シラバスに明記された到達目標・評価方法に基づき、厳格かつ公正な成績評価を行う。研究指導は、1年次に指導教員を決定し、「研究計画書・研究指導計画書」により指導教員の指導のもとにテーマと年次研究計画を作成する。専門分野の内容に応じた演習、講義などを通して指導教員の指導のもとに研究を遂行する。2年次以降も毎年度始めに「研究計画書・研究指導計画書」により指導教員の指導のもとに前年度の評価を行ったうえ、研究の年次計画を作成し、指導教員の指導のもとに研究を遂行し博士論文を作成する。修了時には学位論文審査を実施し、教授会の議を経て、学位（博士）を授与する。学位論文の評価は別に定める「秋田大学大学院医学系研究科医学専攻の学位論文審査に関する取扱要項」に拠る。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

医学専攻（博士課程）では、次のような能力・知識を備え、医学専攻（博士課程）を修了した者、もしくは一定の医学研究歴を持ち、学位論文を提出し、論文審査及び最終試験に合格した者に、博士（医学）の学位を授与する。

1. 人類の健康・福祉の発展に寄与する医学・医療・生命科学の最先端研究を推進するための幅広い知識と研究技法を身につけている。
2. 世界へ向けて卓越した学術研究の成果を発信できる国際的視野を備えている。
3. 幅広い視野を身につけ、自ら問題点を抽出して研究活動を行うことができる。